

箱根町立郷土資料館

館

報

第 37 号

2024.8.1

は じ め に

本書は、箱根町立郷土資料館が令和5年度中に行ってきた諸活動について、報告するものです。Ⅰ 管理・運営、Ⅱ 教育普及活動、Ⅲ 郷土資料収集管理の3章に分けて構成いたしました。

資料館活動の教育普及活動では、3つの企画展を開催することができました。

まず、夏季企画展「身近な石造物たち―郷土の歴史・文化を刻む」では、町内各地に残る石造物について、道祖神や庚申塔、馬頭観音、忠魂碑、さまざまな記念碑、名所碑から郷土箱根で暮らしてきた人々の歴史や文化を展示・紹介しました。秋季企画展「関東大震災と箱根」では、令和5年が関東大震災の発災後100年目に当たることを機に、当時の被害状況や復興に向けたさまざまな動きを通して、箱根町の近代史における関東大震災の意義を紹介しました。冬季企画展「箱根駅伝100回記念 箱根山を駆ける」では、箱根駅伝のはじまりから現在に至るまでの、主に箱根区間での出来事を主軸に、駅伝コースが箱根までになった経緯や当時のチラシや優勝トロフィー等を展示し、箱根駅伝の歴史について紹介しました。

また、町内の小学生を中心に昔の文化を体験してもらう「わらじ作り」、「わらじ歩き」体験や、仙石原に伝わる正月の玄関飾りを作る「正月飾りを作ろう」、七草がゆ作り・試食会と羽根つきやかるた取りなどのお正月遊びが体験できる「お正月を楽しむ会」などの体験学習を開催し、箱根の伝統文化を幅広く知っていただくことができました。

その他にも、箱根探訪会や自治学習出張講座などを行い、多くの方々にご参加いただき、充実した活動を展開することができました。今後共こうした活動をとおして、郷土資料館が多くの皆様に有効に活用していただけるよう、努力していきたいと思っております。

末筆になりましたが、展示開催はじめ、各種事業の実施に際しまして、お世話になりました関係各位に、深く感謝申し上げます。

令和6年8月1日

箱根町立郷土資料館

館長 鈴木 康 弘

目 次

I 管理・運営

1 郷土資料館の概要	1
(1) 役割 (2) 事業 (3) 施設概要 (4) 組織	
2 郷土資料館運営懇話会	3
(1) 委員名簿 (2) 会議内容	
3 令和5年度予算	4
4 令和5年度入館状況	4
5 年度別入館者の推移	5
6 図書室利用者数一覧	5
7 資料館1年のあゆみ	5
8 広報活動	7

II 教育普及活動

1 展示活動	8
(1) 令和5年度郷土資料館企画展	
2 体験学習	10
(1) ワークショップ (2) からくりパズル体験教室 (3) 正月飾りを作ろう (4) 正月を楽しむ会	
3 箱根探訪会	12
(1) 鎌倉時代と江戸時代の箱根路をめぐる (2) 湯本地域周辺の関東大震災遺構を訪ねて (3) 松の茶屋探訪会 (4) 国指定名勝 神仙郷見学会	
4 講師派遣事業	14
(1) 学校講師派遣事業 (2) 函嶺白百合学園中学校（わらじ作りと箱根旧街道） (3) 箱根の森小学校5年生「ふれあい活動」への協力 (4) 昔の暮らし、昔の道具体験学習の受け入れ (5) その他	
5 学習活動の支援	17
(1) ボランティア活動 (2) 博物館実習生の受け入れ (3) 箱根中学校ふれあいボランティア体験の受け入れ	
6 出版事業	18
(1) 本年度出版物 (2) 過去の出版物	

III 郷土資料の調査、収集・活用

1 調査・整理活動	22
(1) 歴史資料	
2 資料の受け入れ	22
(1) 寄贈資料 (2) 寄託資料 (3) 図書資料	
3 資料の利用	31
(1) 貸出 (2) 提供	

箱根町立郷土資料館条例他	34
--------------------	----

I 管理・運営

1 概要

(1) 役割

箱根山に生活し、またここを通過した人々の足跡を後世に伝えること、そしてこれらをもとに、今日の私たちの生き方やこれから先の生活を考えていくことは、現在に生きる私たちの責任である。

郷土資料館は、この考えのもと、箱根の考古・歴史・民俗資料を収集・保管し、教育的配慮のもとに展示公開して、町民の文化の向上等に資する役割を担っているものである。

(2) 事業 ※教育目標における生涯学習施設としての郷土資料館の役割

ア 性格の位置付け

(ア) 箱根山の歴史や文化に関する資料を収集し、保管し、調査研究して、教育普及活動に供する。

(イ) 考古、歴史、民俗資料を取り扱う人文系博物館で、生涯学習を推進する実物教育機関とする。

(ウ) 箱根町の学校や諸文化施設との連絡を密に取り、箱根町の文化振興に寄与する。

イ 事業

(ア) 収集 箱根山の歴史、文化に関する資料を、町内外を問わず収集する。

(イ) 保存 収集した資料の保存には万全を期し、後世に伝えていく。

(ウ) 調査研究 考古、歴史、民俗の各資料の調査研究を行うほか、展示技術・保存技術に関する調査研究を行う。

(エ) 教育普及 各種展示の開催のほか、必要な刊行事業、研究会、講習会を教育的配慮のもとに行う。

(3) 施設概要

・所在地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本 266 番地		
・敷地面積	1,481.67 m ²	・建築面積	737.707 m ²
		・延床面積	1,979.183 m ²
・建物高	19.666m	・構造規模	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建
・開館	昭和58年7月21日		

(主な部屋の面積)

(単位 m²)

B 1	荷降場・荷捌室 136.50			
1 F	特別収蔵庫 46.17	第1収蔵庫 133.46	第2収蔵庫 35.38	文書収蔵庫 68.85
	研究室 26.25	工作室 42.24	写場 68.50	燻蒸室 17.04
2 F	教育委員会事務室等 158.1	学習室 98.22	図書室 75.87	
3 F	常設展示室 214.13	特別展示室 100.20		

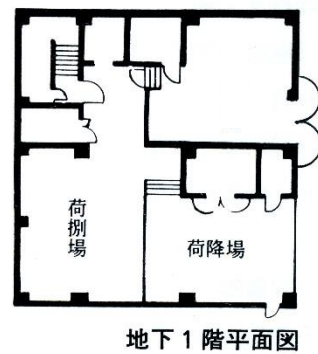
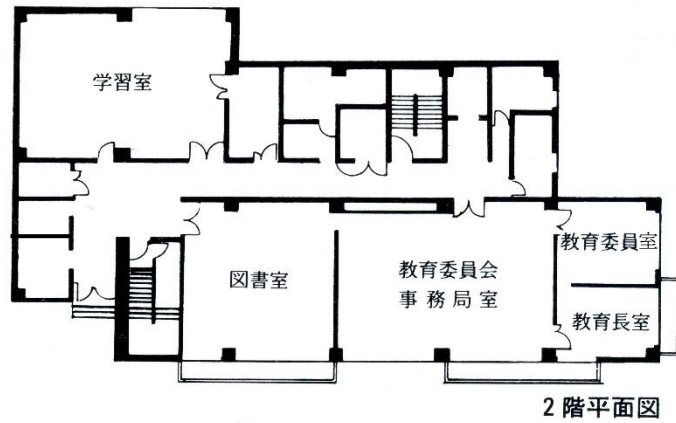
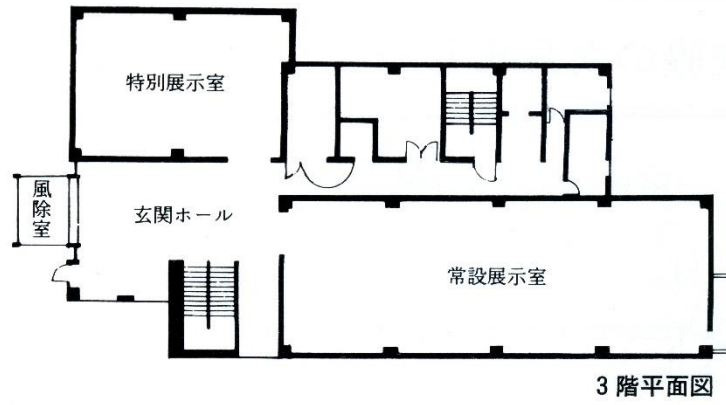
※特別収蔵庫…主に寄託・借用資料

※第1収蔵庫…木製品中心の民俗資料

※第2収蔵庫…土、石製品中心の考古資料

※文書収蔵庫…紙製品中心の歴史資料

〔各階平面図〕



(4) 組織 (令和5年7月1日現在)

教育長 — 教育次長 — 生涯学習課長 — 副課長 — 館長 — (文化財係)
技幹兼係長1名、学芸員3名、事務員1名
————— 受付事務3名(非常勤職員)

職員名簿 (令和5年4月1日現在)

教 育 長	井上 康樹	館 長	鈴木 康弘
教育次長	小野 英敏	文化財係長	吉田 卓郎
課 長	内田 秀臣	学 芸 員	高橋 秀和
副 課 長	石黒 高平	学 芸 員	菊田 祥子

(令和5年7月1日現在)

教 育 長	井上 康樹	館 長	鈴木 康弘
教育次長	小野 英敏	技幹兼文化財係長	高橋 一公
課 長	内田 秀臣	学 芸 員	高橋 秀和
副 課 長	石黒 高平	学 芸 員	菊田 祥子
		学 芸 員	勝間田仁美

2 郷土資料館運営懇話会

郷土資料館活動をより効果的に進めることを目的に調査・研究し、意見・提言を行う会で、自治会連絡協議会・社会教育関係団体・町立小・中学校教諭・有識者から構成されている。

(1) 委員名簿 (任期・令和4年4月1日～令和6年3月31日)

氏 名	所 属
武藤 明	自治会連絡協議会
市川 毅	自治会連絡協議会
三谷 信之	自治会連絡協議会
廣枝 三千ル	女性会連絡協議会
鈴木 太源	文化財保護委員会
福住 治彦	有識者
植村 良彦	有識者(県立生命の星・地球博物館)
中村 貴之	箱根町教育委員会(指導主事)

(2) 会議内容

第1回 中止

第2回 令和5年11月24日(金) 13:40～14:55

会議内容 (1)令和5年度上半期活動報告
(2)令和5年度下半期の活動予定について
(3)その他

第3回 令和6年2月28日(水) 13:30～15:05

会議内容 (1)令和5年度下半期活動報告
(2)令和6年度の活動予定について
(3)その他

3 令和5年度年度予算

(単位：千円)

節	金額	内 容
報酬	3,018	事務補助員賃金 会計年度任用職員報酬
職員手当等	389	
報 償 費	69	運営懇話会委員報償費・体験学習協力者謝礼等
旅 費	53	資料収集等旅費
需 用 費	3,965	
消耗品費	312	一般消耗品・展示開催・体験学習用消耗品等
燃料費	10	体験学習時燃料
食糧費	35	体験学習時食材
印刷製本費	690	企画展ポスター・チラシ・図録印刷
光熱水費	2,818	電気・水道代
修繕料	100	館内修繕
役 務 費	216	消防用設備点検
委 託 料	3,503	清掃・警備・燻蒸委託等
使用料及び賃借料	523	テレビ受信料・AED 借上料等
工事請負費	33,234	外壁塗装工事、受水槽更新工事、トイレ改修工事等
備品購入費	337	オフィスチェア更新・カラープリンター更新
負担金補助金 及び交付金	13	県博物館協会負担金
合 計	45,320	

4 令和5年度入館状況

(単位：人、入館料は円)

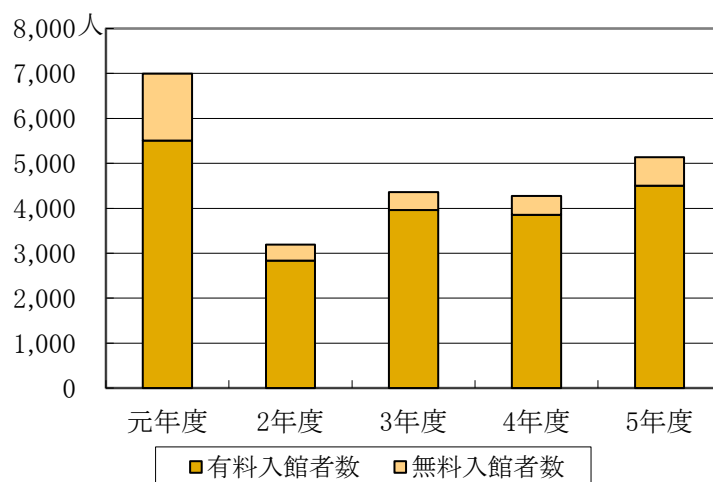
	有 料								無 料						合 計			
	個 人		団 体		割 引		小 計		町 外		町 内		小 計					
	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	計	入館料
4月	263	12	0	0	31	5	294	17	26	0	0	0	26	0	320	17	337	88,950
5月	336	17	0	14	42	4	378	35	23	0	1	0	24	0	402	35	437	115,650
6月	257	9	22	0	31	1	310	10	18	0	1	0	19	0	329	10	339	91,800
7月	298	25	0	0	31	4	329	29	10	7	12	14	22	21	351	50	401	101,300
8月	340	39	0	0	38	7	378	46	24	0	15	3	39	3	417	49	466	118,050
9月	227	3	25	0	23	0	275	3	17	0	4	0	21	0	296	3	299	80,550
10月	302	28	32	0	39	4	373	32	25	0	14	1	39	1	412	33	445	112,950
11月	273	6	0	0	60	3	333	9	81	0	36	0	117	0	450	9	459	98,100
12月	250	4	23	0	55	0	328	4	17	1	26	0	43	1	371	5	376	95,100
1月	368	16	0	0	80	14	448	30	91	0	54	39	145	39	593	69	662	134,200
2月	315	15	0	0	77	3	392	18	16	0	4	31	20	31	412	49	461	116,300
3月	352	13	0	0	53	12	405	25	19	0	5	0	24	0	429	25	454	122,000
合計	3,581	187	102	14	560	57	4,243	258	367	8	172	88	539	96	4,782	354	5136	1,274,950

※小中は小中学生

5 年度別入館状況の推移

(単位：人、入館料は円)

年 度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
有料入館者数	5,505	2,836	3,959	3,856	4,501
無料入館者数	1,488	357	400	420	635
総入館者数	6,993	3,193	4,359	4,276	5,136
入館料	1,507,400	820,250	1,139,500	1,087,200	1,274,950



6 図書室利用者数一覧

(単位：人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
令和元年度	4	7	13	8	7	8	4	8	6	3	7	3	78
令和2年度	1	3	12	20	10	7	8	12	6	0	8	3	90
令和3年度	7	3	5	9	11	4	9	6	10	2	6	5	77
令和4年度	5	5	5	10	6	10	3	5	13	4	5	3	74
令和5年度	5	0	4	5	8	5	9	5	2	5	13	2	63

7 資料館1年のあゆみ

5 月	25 日	展示解説 (東京学芸大学附属大泉小学校 5 年)
	29 日	歴史解説 (箱根 DMO ガイド育成プロジェクト講師)
	31 日	第 1 回箱根探訪会「鎌倉時代と江戸時代の箱根路をめぐる」(中止)
6 月	7 日	わらじ作り体験学習 (仙石原小学校)
	13 日	わらじ作り体験学習 (箱根の森小学校)
	19 日	歴史授業 (箱根の森小学校)
	28 日	歴史授業 (湯本小学校)

7 月	6 日	歴史授業（仙石原小学校）
	7 日	わらじ歩き体験学習（箱根の森小学校）
	7 日	わらじ作り体験学習（湯本小学校）
	12 日	わらじ歩き体験学習（湯本小学校）
	14 日	歴史授業（仙石原小学校）
	21 日～9 月 3 日	企画展「身近な石造物たちー郷土の歴史・文化を刻む」
	24 日	わらじ歩き体験学習（仙石原小学校）
	31 日	歴史解説（初任・新任教職員研修会）
8 月	1 日～10 日	博物館実習（6 名）
	18 日	箱根中学校ふれあいボランティア体験
	3 日	小田原・箱根「からくりパズル」を広める会「からくり教室」
9 月	4 日	展示替え
	5 日	歴史解説（法政大学フィールドスタディ講師）
	7 日	箱根の講演（関東大震災 100 年事業「箱根町防災シンポジウム」）
		展示解説（江戸川大学社会学部フィールドスタディ講師）
	13 日	箱根の歴史講演（日本国土調査測量協会委員会）
10 月	16 日～18 日	臨時休館（館内燻蒸）
	6 日	史跡案内（自然に親しむ運動 ガイドウォークほか）
	14 日～12 月 10 日	企画展「関東大震災と箱根」
	16 日	歴史授業（函嶺白百合学園中学校）
	19 日	わらじ作り体験学習（函嶺白百合学園中学校）
	20 日	わらじ歩き体験学習（函嶺白百合学園中学校）
11 月	25 日	歴史解説（箱根町・三島市議員研修会（日本遺産「箱根八里」の歴史））
	5 日	史跡案内（仙石原体育協会 ウォークイベント）
	8 日	歴史解説（「くらしの家庭講座」箱根町女性会研修会、関東大震災と箱根）
	9 日	第 2 回箱根探訪会「湯本地域周辺の関東大震災遺構を訪ねて」
	11 日	臨時休館（電気設備）
	16 日	HAKONE 大学講師
	17 日	ミュージアムリレー第 330 走
	23 日	臨時休館（電気設備）
	24 日	第 2 回運営懇話会
	29 日	歴史授業（湯本小学校）
12 月	3 日	臨時休館（電気設備）
	8 日	歴史授業（箱根の森小学校）
	12 日	第 3 回箱根探訪会「松の茶屋探訪会」
	15 日	お飾り作り（箱根の森小学校）
	16 日	展示解説（箱根コミュニティカレッジ）
	16 日～R6. 1. 28	企画展「箱根駅伝 100 回記念 箱根山を駆ける」

	27 日	体験学習「正月飾りを作ろう」開催
1 月	2 日	臨時開館（駅伝展のため）
	3 日	臨時開館（駅伝展のため）
	5 日	体験学習「お正月を楽しむ会」開催
	11 日	展示解説（湯本小学校 昔の道具体験）
		HAKONE 大学講師
	17 日	歴史解説（「くらしの家庭講座」箱根町女性会研修会、箱根駅伝 100 回記念）
	25 日	HAKONE 大学講師
2 月	16 日	展示解説（箱根の森小学校）
	21 日	展示解説（湯本小学校）
3 月	24 日	展示解説（箱根コミュニティカレッジ）
	25 日	第 4 回箱根探訪会「国指定名勝 神仙郷見学会」
	28 日	第 3 回運営懇話会

8 広報活動

（１）マスメディア等への情報提供

月 日	掲載場所	内 容
7 月 20 日	記者発表	企画展「身近な石造物たちー郷土の歴史・文化を刻む」について発表
9 月 16 日	神静民報	企画展「関東大震災と箱根」について発表・掲載
10 月 7 日	記者発表	
12 月 1 日	広報はこね 12 月号	企画展「箱根山を駆ける」について発表・掲載
12 月 15 日	記者発表	
12 月 17 日	読売新聞	
12 月 20 日	広報千代田 12/20 号	
12 月 21 日	神奈川新聞	
	神静民報	
1 月 1 日	タウンニュース	
1 月 3 日	朝日新聞	
1 月 21 日	神静民報	

II 教育普及活動

1 展示活動

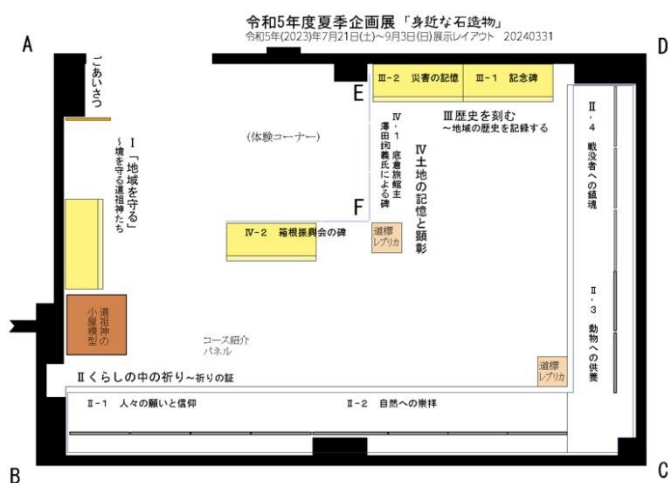
実物資料を通じた箱根の歴史や文化の情報提供・学習機会を図った。

(1) 令和5年度郷土資料館企画展

ア 夏季企画展「身近な石造物たちー郷土の歴史・文化を刻む」

郷土資料館で長年にわたって実施してきた石造物調査の成果をもとに、町内に点在する石造物を題材として取り上げ、特に代表的な石造物の建造背景や伝承を紹介した。

- ・期 日 令和5年7月21日（金）～9月3日（日）
- ・場 所 特別展示室
- ・入館者数 702人（7月184人、8月467人、9月51人）



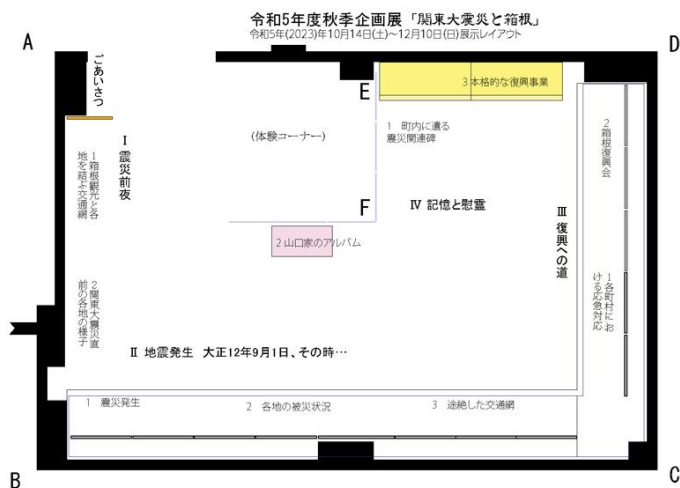
イ 秋季企画展「関東大震災と箱根」

令和5年が関東大震災の発災後100年目に当たることを機に、当時の被害状況や復興に向けたさまざまな動きをⅠ震災前夜、Ⅱ地震発生 大正12年9月1日、その時…、Ⅲ復興への道、Ⅳ記憶と慰霊の4コーナーに分け、当時の資料や写真、行政文書等を展示した。

神奈川県博物館協会の「神奈川震災100年プロジェクト」に参加して展示解説を行った。

- ・期 日 令和5年10月14日（土）～12月10日（日）
- ・場 所 特別展示室
- ・入館者数 864人（10月：264人 11月：459人 12月：141人）





・関連事業

(ア) 箱根探訪会「湯本地域周辺の関東大震災遺構を訪ねて」

実施日 令和5年11月9日(木)

参加人数 20名(応募者23名)

(イ) ミュージアムリレー第330走

「神奈川県西部地域ミュージアム連絡会」実施事業の一環として展示解説を行った。

実施日 11月17日(金) 10時～12時

参加者 6名(応募者9名)



ウ 冬季企画展「箱根駅伝100回記念 箱根山を駆ける」

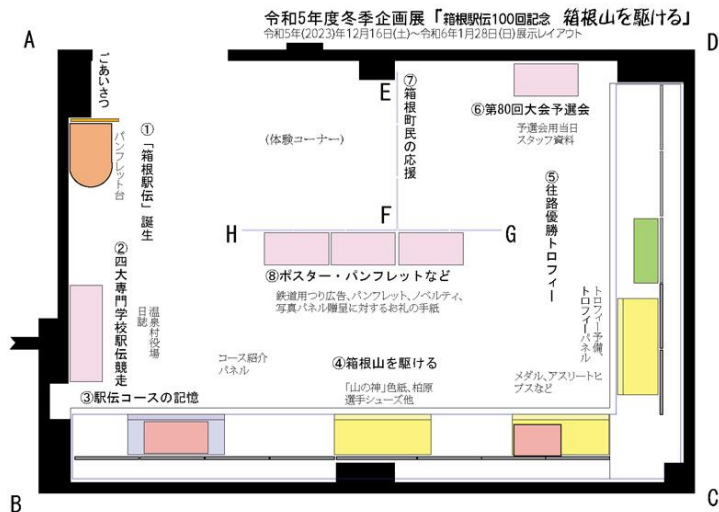
箱根駅伝が始まってから戦争時の休止期間を除き令和6年に第100回の記念大会を迎え、特徴やコースの変遷、箱根駅伝と箱根の住民の関わり方、印象的な出来事を中心に紹介・展示した。

・期 日 令和5年12月16日(土)～1月28日(日)

・場 所 特別展示室

・入館者数 842人(12月190人、1月652人)





2 体験学習

資料に触れる、資料を使う、資料を作るなど体験学習を通じて、資料への理解を深めることを目的に行った。

(1) ワークショップ

ア、ミニわらじ作りコーナー

材料は直径1ミリの紙紐を使用し、使用する長さに切り揃えて用意しておき、来館者は自由に材料を使い作成することができる。作成料は無料(入館料のみ)。



イ、からくり細工にチャレンジ (7月21日より再開)

箱根細工のひとつ、からくり細工(組木細工)を実際に体験してもらう。

・期 間 通年



ウ、彩色写真にチャレンジ（7月21日より再開）

モノクロ写真に色を塗った彩色古写真（横浜写真）の制作過程を疑似体験できるように、印刷した古写真を色鉛筆で彩色する。企画展開催時には、展示に使用した古写真を使用した。

・期 間 通年



塗り絵風景

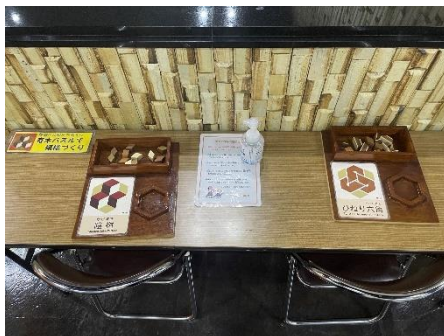


上 見本図、左 用紙、右 完成図

エ、寄木模様のパズルで遊ぼう（7月21日より再開）

伝統的な寄木細工の模様を拡大し、寄木の構造を観察できるようにしたパズルを5種類用意した。夏休み体験広場用に用意し、その後、通年の利用に供した。また、寄木パズルを新調し、新たに「亀甲」「六角麻の葉」を用意した。

・期 間 通年



体験広場



寄木パズル

（2） からくりパズル体験教室

小田原・箱根「からくりパズル」を広める会の指導の下、小学生を中心としたからくり箱の工作教室を行った。

- ・日 時 令和5年8月3日(木) 第1回：10：30～12：00 第2回：13：00～15：30
- ・場 所 学習室
- ・参加者 各日20組
- ・講 師 からくり創作研究会



(3) 正月飾りを作ろう

仙石原に伝わる正月の玄関飾りを作る講習会を開催した。

- ・日 時 令和5年12月27日(水) 10:00～11:45
- ・場 所 仙石原文化センター屋外
- ・参加者 11名(玄関飾り)、5名(門松づくり)
- ・講 師 仙石原古式門松保存会

(午後から仙石原古式門松保存会主催の「門松づくり」が行われた)



お正月飾り作り風景①



お正月飾り作り風景②

(4) 正月を楽しむ会

正月の伝統行事である七草がゆ作りと、その試食を通して、箱根地方に伝わる年中行事を体験し、町民や観光客の方に箱根の民俗文化について紹介した。

- ・日 時 令和6年1月5日(金)
 - 9:30～ お正月遊び開始(かるた・すごろく・羽根つき・コマ回し等)
 - 七草がゆ作りの実演
 - 11:30～ 七草がゆの試食
- ・場 所 郷土資料館前駐車場、郷土資料館エントランス及び展示室
- ・協 力 箱根町女性会連絡協議会・郷土資料館ボランティア
- ・参加者 110名



七草がゆ調理



七草がゆ試食

3 箱根探訪会

箱根町内に残る史跡や建造物、自然の見学を通じて箱根の歴史や自然に対する理解を深めていただくことを目的として、全4回を予定し、そのうち3回を開催した。

(1) 第1回箱根探訪会「鎌倉時代と江戸時代の箱根路をめぐる」

鎌倉時代及び江戸時代の風景を追体験できる2つの史跡を中心に、両者をつなぐハイキングコース上にあるお玉が池や、古くからの湯治場として知られる芦之湯など、周辺の史跡等を併せて散策予定であった。

- ・開催日時 令和5年5月31日(水) 10:30～14:15 ※雨天により中止

(2) 第2回箱根探訪会「湯本地域周辺の関東大震災遺構を訪ねて」

夏季企画展「関東大震災と箱根」の関連行事として学習室で解説を行った。解説終了後に湯本周辺の関東大震災遺構を中心に、箱根湯本駅周辺の早川河川敷及び白石地藏周辺で、早川泥流堆積物や箱根山の基盤岩である早川凝灰角礫岩の見学を行った。

- ・開催日時 令和5年11月9日(木) 10:00～15:00
- ・案内 笠間友博(箱根ジオパーク推進協議会事務局次長)、鈴木康弘(当館)
- ・参加人数 20名



箱根における関東大震災解説



震災遭難者追悼句碑解説



早川凝灰角礫岩の解説

(3) 第3回箱根探訪会「松の茶屋探訪会」

国の登録文化財として保護・活用が図られている松の茶屋の見学会を、所有者の「公益財団法人三井文庫」の協力のもとで実施した。残月の間・大炉の間や庭園などを見学しながら各所で解説を受けた。

- ・開催日時 令和5年12月12日(火) 9:30～16:00
- ・案内 清水実学芸部長(三井記念美術館)、堀田勝彦事務局長(三井文庫)、金子浩己事務局次長(三井文庫)、鈴木康弘(当館)、勝間田仁美(当館)
- ・参加人数 18名



松の茶屋 歴史解説風景



中央棟内客室見学風景



庭園見学風景

(4) 第4回箱根探訪会「国指定名勝 神仙郷見学会」

国名勝の神仙郷の苔庭、石楽園等の庭園のほか、令和5年度に新たに国登録有形文化財(建造物)に登録された箱根美術館本館・別館、日光殿、山月庵をはじめ、通常非公開である神山荘、観山亭の見学も行った。

- ・開催日時 令和6年3月25日(月) 10:00～12:00
- ・案内 世界救世教関係者、鈴木康弘(当館)、勝間田仁美(当館)
- ・参加人数 20名



神山荘解説風景



石楽園解説風景



神仙郷見学風景

4 講師派遣事業

町内小中学校をはじめ、団体などからの要望に応じたさまざまな講義を通して、箱根の歴史や文化について理解を深めることを図った。

(1) 学校講師派遣事業（町内公立学校との連携）

ア 箱根の歴史講師派遣授業

町立小学校3校の6年生が箱根の歴史を学ぶ機会として、郷土資料館学芸員が各小学校に出向き授業を行った。年間2時限以上で、内1時限は箱根関所と箱根旧街道について学んだ。

また、本年度は町立小学校3校の6年生が箱根の歴史を学ぶ機会として、郷土資料館学芸員が各小学校に出向き授業を行った。年間2時限以上で、1時限は箱根関所と箱根旧街道についての授業を行った。

(ア) 湯本小学校

① 旧石器時代から弥生時代の箱根

実施日 令和5年6月28日（金）

② 箱根関所と箱根旧街道

実施日 令和5年11月29日（水）

(イ) 箱根の森小学校

① 箱根関所物語と箱根旧街道

実施日 令和5年6月19日（月）

② 箱根温泉の近代化

実施日 令和5年12月8日（金）

(ウ) 仙石原小学校

① 旧石器時代から弥生時代の箱根

実施日 令和5年7月6日（木）

② 箱根関所物語と旧街道

実施日 令和5年7月14日（金）

イ わらじ作りと箱根旧街道を歩く

町立小学校 3 校の 6 年生がわらじを作り、作ったわらじで箱根旧街道の石畳を歩く体験を行った。資料館職員が資料館ボランティアとともに製作指導にあたり、歩行時には学芸員が史跡等を解説を行った。

(ア) 湯本小学校

- ・わらじ作り 令和 5 年 7 月 7 日 (金)
- ・わらじ歩き 令和 5 年 7 月 12 日 (水)



(イ) 仙石原小学校

- ・わらじ作り 令和 5 年 6 月 7 日 (水)
- ・わらじ歩き 令和 5 年 7 月 24 日 (金)



(ウ) 箱根の森小学校

- ・わらじ作り 令和 5 年 6 月 13 日 (火)
- ・わらじ歩き 令和 5 年 7 月 7 日 (金)



(2) 函嶺白百合学園中学校 (わらじ作りと箱根旧街道)

函嶺白百合学園中学から依頼があり、同学園に出向き、中学2年生を対象に授業・体験を行った。その後、甘酒茶屋から箱根関所までを歩く体験も行った。

①歴史授業 令和5年10月16日(月)

②わらじ作り 令和5年10月19日(木)

③わらじ歩き 令和5年10月20日(金)



(3) 箱根の森小学校5年生「ふれあい活動」への協力

箱根の森小学校5年生の「ふれあい活動」において、箱根の文化を学ぶため保護者とともに仙石原地域に伝わる正月のお飾りづくりを行った。

・実施日 令和5年12月15日(金)



(4) 昔の暮らし、昔の道具体験学習の受け入れ

町内小学校3・4年生の社会科「昔の暮らし」の単元において資料館を見学した際、実際に使われた道具等の資料を用いた体験学習を行った。

(ア)箱根の森小学校3年生

実施日 令和6年2月16日(金)

(イ)湯本小学校3年生

実施日 令和6年2月21日(水)



昔の道具体験学習



昔の暮らし解説

(5) その他

月	日	内容及び受講者	種別
5	25	展示解説(東京学芸大学附属大泉小学校 5 年)	依頼
5	29	歴史解説(箱根 DMO ガイド育成プロジェクト講師)	依頼
7	31	歴史解説(初任・新任教職員研修会)	依頼
8	3	小田原・箱根「からくりパズル」を広める会「からくり教室」	依頼
9	5	歴史解説(法政大学フィールドスタディ講師)	依頼
9	7	箱根の講演(関東大震災 100 年事業「箱根町防災シンポジウム」)	依頼
		展示解説(江戸川大学社会学部フィールドスタディ講師)	依頼
9	13	箱根の歴史講演(日本国土調査測量協会委員会)	依頼
10	6	史跡案内(自然に親しむ運動 ガイドウォークほか)	自治
10	25	歴史解説(箱根町・三島市議員研修会(日本遺産「箱根八里」の歴史))	依頼
11	5	史跡案内(仙石原体育協会 ウォークイベント)	依頼
11	8	歴史解説(「くらしの家庭講座」箱根町女性会研修会、関東大震災と箱根)	依頼
11	16	HAKONE 大学講師	依頼
12	16	展示解説(箱根コミュニティカレッジ)	依頼
1	11	HAKONE 大学講師	依頼
1	17	歴史解説(「くらしの家庭講座」箱根町女性会研修会、箱根駅伝 100 回記念)	依頼
1	25	HAKONE 大学講師	依頼
3	24	展示解説(箱根コミュニティカレッジ)	依頼

なお、表中の種別に「自治」とあるのは、自治学習出張講座として開催したもの。「依頼」は、主に町外諸団体から直接郷土資料館へ依頼があったものである。

5 学習活動の支援

学習意欲のある方々の活動を直接支援することを図った。

(1) ボランティア活動

郷土資料館の活動に興味のある方に対し、箱根町の歴史と文化、資料館の所蔵資料に対する理解を深めていただくためにボランティアを受け入れていく。

- ・実施内容 展示作成・設置補助、体験学習の補助、図書及び収蔵資料の整理などを行う。
- ・活動日 毎月第 1、第 3 木曜日
- ・登録者 10 名



(2) 博物館実習生の受け入れ

学芸員資格取得に必要な博物館実習を希望する大学生を受け入れ、資料館業務を体験してもらった。

- ・実施期間 令和5年8月1日(火)～8月10日(木)(全8日)
- ・内 容 歴史系実習、民俗系実習、教育普及系実習、展示実習
- ・受入人員 6名



パネル・キャプション等制作



展示作業風景

(3) 箱根中学校ふれあいボランティア体験の受け入れ

中学生に地域社会のボランティア活動の場を提供する。

- ・実施日 令和5年8月18日(金)
- ・内 容 展示コーナーの配置換えや、受付等の郷土資料館業務を体験してもらった。
- ・受入人員 3名

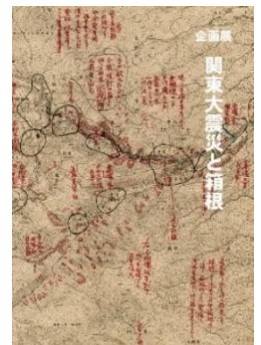
6 出版事業

印刷物などを通して広く箱根の歴史や文化についての情報発信を図った。

(1) 本年度出版物

ア 企画展図録「関東大震災と箱根」

- ・内 容 本年度開催の企画展「関東大震災と箱根」の展示図録。展示資料の図版・解説のほか、掲載資料の翻刻等もあわせて収録した。
- ・出版日 令和6年3月28日



イ 企画展パンフレット「箱根駅伝 100 回記念 箱根山を駆ける」

- ・内 容 本年度開催の企画展「箱根駅伝 100 回記念 箱根山を駆ける」の展示パンフレット。箱根駅伝のうち、箱根区間の様子や箱根で行われていた予選会、町民の関わりなどを紹介した。
- ・発行日 令和5年12月16日



(2) 過去の出版物

ア 箱根叢書

No	タ イ ト ル 名	著 者	発行年月
1	箱根関所物語	加藤利之	1985. 3
2	箱根の鳥	箱根野生鳥類調査団	1985. 3
3	箱根の植物	松浦正郎・佐藤勝信	1985. 3
4	はこね昔がたり	勝俣孝正・加藤利之・田代謙二	1986. 3
5	箱根を歩く－自然と歴史を訪ねて－	箱根の自然と文化研究会	1986. 3
6	箱根の魚類	栗本和彦・上妻信夫 石原龍雄・橘川宗彦	1986. 3
7	箱根を巡る古城 30 選	小田原城郭研究会	1987. 3
8	箱根の文学散歩	箱根文学研究会	1987. 3
9	箱根細工物語－漂泊と定住の木工芸－	岩崎宗純	1988. 3
10	箱根の逆さ杉	大木靖衛・袴田和夫・伊東博	1988. 3
11	はこね昔がたり II	安藤正平・澤田安蔵	1988. 3
12	仙石原湿原の四季	井上香世子 他	1988. 8
13	箱根の石仏	澤地弘	1989. 3
14	箱根の昆虫－はこねを食べる妖精たち－	佐藤勝信	1989. 7
15	サルのざぶとん－箱根山動物ノート－	田代道彌	1990. 3
16	早雲寺 －小田原北条氏菩提所の歴史と文化－	早雲寺研究会	1990. 3
17	改訂版 箱根を歩く	箱根の自然と文化研究会	1991. 3
18	箱根と外国人	児島豊	1991. 3
19	あるく・みる 箱根八里	田代道彌	1991. 3
20	はこね昔がたり III	安藤正平	1992. 3
21	箱根の樹木	八田洋章	1992. 3
22	旅の詩人 宗祇と箱根	金子金治郎	1993. 1
23	箱根火山探訪	袴田和夫	1993. 3
24	箱根二十湯－やさしい温泉入門－	平野富雄	1994. 3
25	箱根山の近代交通	加藤利之	1995. 3
26	あるく・見る 萬葉集「足柄箱根歌」	田代道彌	1996. 3
27	箱根旧街道「石畳と杉並木」	大和田公一・伊藤潤	1997. 3
28	中世の箱根山	岩崎宗純	1998. 3
29	ケンペル・バーニー祭 －箱根自然保護運動のあゆみ－	ケンペルとバーニーを讃える会	1998. 1
30	箱根 Q & A 125－その歴史と自然－	箱根叢書刊行企画委員会	2000. 3

イ 郷土資料館資料集

No	タ イ ト ル 名	発行年月日
1	旧大平台名主藤曲家近世文書	1994. 3. 31
2	箱根彩景ー古写真に見る近代箱根のあけぼのー	2002. 3. 20

ウ 調査研究報告書

No	タ イ ト ル 名	発行年月日
1	「湯治の道」関係資料調査報告書	1997. 3. 31
2	「街道」関係資料調査報告書	2001. 3. 31

エ 企画展展示図録等

No	タ イ ト ル 名	発行年月日
1	早雲寺の名宝	1984. 10. 28
2	早雲寺の名宝	1985. 10. 27
3	和宮様香華院 阿弥陀寺の遺宝	1986. 10. 27
4	箱根神社の歴史と祭り	1987. 10. 25
5	興福院と賽の河原	1988. 10. 20
6	伝統的工芸品指定五周年記念 箱根寄木細工	1989. 10. 29
7	連歌師宗祇ーその生涯と終焉の地箱根湯本ー	1990. 11. 3
8	箱根旧街道石畳と杉並木	1992. 11
9	早雲寺の歴史と文化	1993. 10. 30
10	箱根の鉄道ー馬車鉄道から山岳鉄道開通までー	1994. 7. 21
11	浮世絵特別公開 箱根の物語絵ー金太郎・箱王丸・勝五郎と初花ー	1994. 10. 29
12	明治の模範村 箱根権現領旧元箱根村の歴史	1995. 7. 20
13	おじいさん・おばあさんたちの学校	1995. 10. 27
14	開け行く別荘地・箱根	1996. 10. 25
15	描かれた箱根ー絵画資料で見る箱根の原風景ー	1997. 7. 26
16	外国人の見た Hakoneー避暑地箱根の発見ー	1997. 10. 31
17	白川洗石とその周辺ー明治大正期を生きた木象嵌細工師たちー	1998. 10
18	箱根町の指定文化財	2000. 10
19	没後五百年遠忌 旅の詩人ー連歌師宗祇ー	2001. 8. 1
20	箱根八里ー難所東坂を登るー	2001. 10. 27
21	箱根八里地図	2001. 10. 27
22	箱根は箱根ー小説「箱根山」の風景ー	2002. 10. 12
23	福住旅館金泉楼・萬翠楼ー明治の息吹を今に伝える建築と書画	2003. 9. 27
24	七湯の枝折	2004. 9. 25
25	HAKONE1956…50 年前の箱根	2006. 9. 30
26	箱根山中 村むらの仏たち	2007. 10. 25
27	まつりの風景ー箱根の年中行事・正月行事から春祭りまでー	2009. 10. 17

28	東海道山の関所・箱根/うみの関所・新居	2010. 10. 20
29	まつりの風景Ⅱ～箱根の年中行事・初夏から歳末まで～	2012. 9. 29
30	バス、天下の険をいく ～箱根の自動車 100 年～	2013. 9. 30
31	近代箱根の名園 恩賜箱根公園・強羅公園・神仙郷	2014. 10. 4
32	国登録有形民俗文化財登録記念 箱根細工の歴史と技術	2019. 3. 28
33	戊辰箱根戦争—小田原藩×遊撃隊	2019. 3. 29
34	箱根登山鉄道のあゆみ	2020. 3. 27
35	箱根を拓く—渋沢栄一と箱根	2022. 3. 31
36	箱根の湯立獅子舞	2023. 3. 31
37	関東大震災と箱根	2024. 3. 28

(5) 館 報

全 35 号 第 1 号 1984 年 3 月 ～第 36 号 2020 年 3 月 但し、第 2 号、3 号、4 号、5 号、6 号、7 号、9 号は、調査活動報告書との合併号

(6) One Coin シリーズ

No	タイトル名	発行年月日
1	One Coin シリーズ① 箱根探訪ハンドブック 芦ノ湖一周コース・大涌谷コース	2009. 5. 15
2	One Coin シリーズ② 箱根探訪ハンドブック 芦之湯コース	2009. 12. 25
3	One Coin シリーズ③ 箱根探訪ハンドブック 仙石原コース	2014. 9. 10
4	One Coin シリーズ④ 箱根探訪ハンドブック 宮城野コース	2013. 3. 31
5	One Coin シリーズ⑤ 箱根の歴史と文化 箱根温泉の歴史	2013. 3. 31
6	One Coin シリーズ⑥ 箱根探訪ハンドブック ニノ平・強羅コース	2014. 3. 31
7	One Coin シリーズ⑦ 近代建築 富士屋ホテル	2014. 3. 31
8	One Coin シリーズ⑧ 近代建築 旅館建築	2015. 3. 31
9	One Coin シリーズ⑨ 箱根探訪ハンドブック 湯本・塔之澤 温泉場コース	2015. 3. 31
10	One Coin シリーズ⑩ 箱根探訪ハンドブック 湯本～畑宿街道コース	2016. 3. 31
11	One Coin シリーズ⑪ 近代建築 別荘建築	2016. 3. 31
12	One Coin シリーズ⑫ 箱根の歴史と文化 箱根の道祖神	2016. 12. 28
13	One Coin シリーズ⑬ 箱根探訪ハンドブック 温泉地域コース	2017. 3. 31
14	One Coin シリーズ⑭ 箱根町立郷土資料館ハンドブック 絵葉書①	2018. 3. 31
15	One Coin シリーズ⑮ 箱根町立郷土資料館ハンドブック 絵葉書②	2018. 3. 31
16	One Coin シリーズ⑯ 箱根町立郷土資料館ハンドブック 浮世絵	2019. 3. 29
17	One Coin シリーズ⑰ 箱根町立郷土資料館ハンドブック 古写真①	2020. 3. 31
18	One Coin シリーズ⑱ 箱根町立郷土資料館ハンドブック 古写真②	2020. 3. 31
19	One Coin シリーズ⑲ 箱根の歴史と文化 箱根の湯立獅子舞	2022. 3. 31
20	One Coin シリーズ⑳ 箱根の歴史と文化 箱根旧街道 箱根八里・東坂に行く	2024. 3. 31

Ⅲ 郷土資料の調査、収集・活用

1 調査・整理活動

(1) 歴史資料

受入資料の整理・収蔵庫への配架、写真資料のデジタル化など

2 資料の受け入れ

(1) 寄贈資料

登録	資 料 名	寄贈者	種別	点数
4/1	箱根町 OB 会 会報 1～36 号	箱根町 OB 会	歴史	36
4/1	箱根町 OB 会 会員近況	箱根町 OB 会	歴史	4
6/1	箱根名所地図 (大正 9 年 7 月発行)	個人	歴史	1
6/1	箱根・伊豆観光案内図 (昭和 46 年 10 月版)	個人	歴史	1
6/1	箱根・伊豆の観光案内 (上記案内図の付録)	個人	歴史	1
6/1	小田急沿線案内 (ロープウェイ開通前)	個人	歴史	1
6/1	1/50000 集成図箱根附近 (昭和 36 年 11 月 30 日発行)	個人	歴史	1
6/1	観光案内図 No. 424 箱根温泉郷ご案内 (昭和 56 年 5 月 31 日発行)	個人	歴史	1

6/1	ロマンスカー標準時刻表 3月1日～3月31日	個人	歴史	1
6/1	箱根ゴールデンコース回遊記念 回遊乗車券 (A コース)	個人	歴史	1
11/2	昭和 11 年 3 月 卒業記念帖 (仙石尋常高等小学校)	個人	歴史	1
12/7	大正 13 年 3 月 13 日 神奈川県知事賞状 (関東大震災時の人命救助に対し)	個人	歴史	1
2/22	第 77 回箱根駅伝往路ゴール地点観戦記念 定規	個人	民俗	1
2/22	第 78 回 箱根ゴール記念 優勝カップミニチュア	個人	民俗	1
2/22	第 80 回 東京箱根間往復大学駅伝競争 優勝カップミニチュア	個人	民俗	1
2/22	100th HAKONE EKIDEN&NIPPON TV 70th ANNIVERSARY シャープペンシル付き 4 色ボールペン	個人	民俗	1
2/22	箱根駅伝 100 てぬぐい	個人	民俗	1

(2) 寄託資料

登録	資 料 名	寄託者	種別	点数
12/8	箱根細工三十六玉子、信濃亀吉画像	個人	民俗	2 点
3/14	重要文化財国道一号箱根湯本道路施設(函嶺洞門、千歳橋、旭橋)3 基に係る附(箱根塔ノ澤架設千歳橋計算書、国道一号線足柄下郡湯本町地内旭橋設計計算書、国道一号線旭橋改築工事設計書)	神奈川県 県土整備局道路部 道路管理課長	歴史	3 点

(3) 図書資料 他

著者・出版社	書名等
八王子市教育委員会	八王子城跡 X
ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・パリ 1925 機械時代のアートとデザイン
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 886 号
大雄山最乗寺	大雄 通巻 169 号
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第 13 号
三浦市市民部	三浦市埋蔵文化財調査報告書 34 集 市内遺跡発掘調査
国際文化財株式会社	鳥山馬込遺跡 第 1 分冊
国際文化財株式会社	鳥山馬込遺跡 第 2 分冊
横浜開港資料館編	幻の写真家 チャールズ・ウィード 知られざる幕末日本の風景
茅野市八ヶ岳総合博物館・長野市立博物館	企画展 信州天文文化 100 年
茅ヶ崎市教育委員会	茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告 63 神奈川県茅ヶ崎市公共下水道布設関連遺跡調査報告Ⅱ 平成 12 (2000) 年度発掘調査
株式会社玉川文化財研究所	神奈川県藤沢市 藤沢市北部第二 (三地区) 土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書一下土棚諏訪ノ棚遺跡第 5・6 次調査一
武田尚子	箱根の開発と渋沢栄一
富士宮市・富士宮市教育委員会	第 20 回「富士山を詠む」俳句賞作品集
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 887 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 888 号
扣之帳刊行会	扣之帳 第 78 号
板橋区立郷土資料館	旧粕谷家住宅築 300 年記念 いたばしの古民家
公益財団法人 かながわ考古学財団	かながわ考古学財団調査報告 332 堀西下森戸遺跡

成田山書道美術館	尾崎邑鵬展
神奈川県教育委員会	神奈川県教育史 1945～1972 資料編（下）
株式会社玉川文化財研究所	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 97 三田林根遺跡第4地点 県道42号（藤沢座間厚木）道路改良に伴う発掘調査
公益財団法人 かながわ考古学財団	かながわ考古学財団発掘調査報告 333 上粕屋・秋山上遺跡第2次調査
世田谷区政策経営部政策企画課区史編さん担当	区史研究世田谷 第3号
神奈川県博物館協会	神奈川県博物館協会会報 第94号
公益財団法人 かながわ考古学財団	かながわ考古学財団調査報告 334 栗窪・林遺跡 栗窪・林台遺跡 栗窪・四石田遺跡 第1分冊
公益財団法人 かながわ考古学財団	かながわ考古学財団調査報告 334 栗窪・林遺跡 栗窪・林台遺跡 栗窪・四石田遺跡 第2分冊
公益財団法人 かながわ考古学財団	かながわ考古学財団調査報告 334 栗窪・林遺跡 栗窪・林台遺跡 栗窪・四石田遺跡 第3分冊
神奈川県教育委員会	神奈川県埋蔵文化財センター 年報 34
渋沢研究会	渋沢研究 第35号
神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課中村町駐在事務所	神奈川県埋蔵文化財調査報告書 68
三島市郷土資料館	三島宿関係史料集 12「三島 問屋場・町役場文書」
三島地域資料調査会	学校の美術品
株式会社パスコ	神奈川県横浜市中区 港町一丁目遺跡（二代目横浜市役所跡）
清瀬市	清瀬市史 6 資料編 現代
平塚市博物館市史編さん担当	平塚市史 13 下 別編 寺社(2)
池谷初恵 大和田公一	古地図で楽しむ伊豆・箱根
株式会社 野生動物保護管理事務所	令和4年度 富士箱根伊豆国立公園箱根地域シカ管理対策 検討調査業務報告書
ねんりんピックかながわ 2022 実行委員会	ねんりんピックかながわ 2022 大会報告書
扣之帳刊行会	扣之帳 第79号
厚木市教育委員会社会教育部文化財保護課文化財保護係	厚木市史 古代通史編
酒々井町教育委員会	城と城下にみる戦国大名の権威-本佐倉、小田原、甲府-
酒々井町教育委員会	34,000年前、墨古沢は日本の中心であった 記録集
真鍋淳哉	藤沢市史ブックレット 12 藤沢の戦国時代
藤沢市史編さん委員会	藤沢市史研究 第55号
藤沢市文書館	歴史をひもとく藤沢の資料 7 遠藤地区
神奈川県立金沢文庫	湘南鉄道と県立金沢文庫—楠山永雄コレクション鉄道資料—
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第238集
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第239集
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第240集
富士吉田市教育委員会	富士吉田市歴史民俗博物館資料叢書 第五集 菊田日記④ 第十九番～第二十四番
国立歴史民俗博物館	いにしえが、好き-近世好古図録の文化誌-

静岡市観光交流文化局文化財課	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財調査報告書 由比北田の天王船流し
信州農村開発史研究所	水と村の歴史 ―信州農村開発史研究所紀要 第34号―
板橋区立郷土資料館	板橋区立郷土資料館年報 第34号第35号/紀要 第24号
板橋区教育委員会事務局生涯学習課文化財課	歴史民俗研究 第21回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集
佐久市五郎兵衛記念館	佐久市五郎兵衛記念館 古文書調査報告書 第16集
横浜植物会	横浜植物会年報 第52号
東京文化財研究所 無形文化遺産部	第17回無形民俗文化財研究協議会報告書 文化財としての食文化 無形民俗文化財の新たな広がり
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第890号
関東第四紀研究会	関東の四紀 38
西上総文化会会報委員会	西上総文化会会報第83号
武相文化財研究所	神奈川県高座郡寒川町 倉見大村遺跡 第7次調査
武相文化財研究所	神奈川県伊勢原市 白根字下原遺跡
海老名市教育委員会	神奈川県海老名市 国分尼寺北方遺跡発掘調査報告書―第49・58次調査―
中之条町教育委員会	群馬県吾妻郡中之条町 国指定史跡荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡 東谷風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書5
株式会社アーク・フィールドワークシステム	神奈川県横浜市 東本郷宿根遺跡発掘調査報告書
株式会社測研しづかわ営業所	渋川市埋蔵文化財発掘調査報告書 第54集 有馬堂山古墳群2
渋川市教育委員会	渋川市埋蔵文化財発掘調査報告書 第55集 渋川市市内遺跡16
渋川市教育委員会	渋川市埋蔵文化財発掘調査報告書 第56集 半田築地前遺跡2
渋川市教育委員会	渋川市埋蔵文化財発掘調査報告書 第57集 吹矢恵久保遺跡2
川崎市市民ミュージアム 教育普及部門	川崎市市民ミュージアム 教育普及事業紹介
沼津市歴史民俗資料館 沼津市明治史料館	沼津市博物館紀要 47
山北町地方史研究会	足柄乃文化 第50号 記念号
藤沢市教育委員会	藤沢市埋蔵文化財調査報告第10集 神奈川県藤沢市 稲荷大地遺跡群第41次調査 発掘調査報告書
藤沢市教育委員会	藤沢市埋蔵文化財調査報告第11集 神奈川県藤沢市 市市内遺跡試掘・確認調査報告書3
相模原市教育委員会 教育局 生涯学習部文化財保護課	相模原市文化財調査報告書 神奈川県指定重要文化財 旧青柳寺庫裡茅葺屋根等修繕報告書
大和市役所文化スポーツ部文化振興課市史・文化財係	大和市史研究 第43号
町田市立自由民権資料館	自由民権 36号
横須賀市自然・人文博物館	横須賀市博物館研究報告（自然科学）第70号
横須賀市自然・人文博物館	横須賀市博物館研究報告（人文科学）第67号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第891号
二本松市教育委員会 株式会社シン技術コンサル	二本松市文化財調査報告書第78集 上竹遺跡発掘調査報告書
二本松市教育委員会	二本松市文化財調査報告書第80集 二本松城跡35―令和4年度発掘調査報告書―
二本松市教育委員会	二本松市文化財調査報告書第79集 令和4年度市内遺跡試掘調査報告書

村野日誌研究会 町田市立自由民権資料館	武相近代資料集 1-2 村野日誌 2 明治 43-44 年
萩原清司編	黒潮のめぐみ～海流が運んだ生き物と文化～
小田原市郷土文化館	小田原市郷土文化館研究報告 No.59
平塚市博物館	平塚市博物館研究報告 自然と文化 第 46 号
平塚市博物館	平塚市博物館年報 第 46 集
シルク博物館	「横浜・生糸」ものがたりⅢ 横浜から世界へ 海を渡った生糸
株式会社アーク・フィールドワークシステム	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 98 諏訪前 A 遺跡第 17 地点 七ノ城遺跡第 12 地点
佐渡市教育委員会	佐渡市埋蔵文化財調査報告書第 31 集 佐渡市内遺跡発掘調査報告 X 令和 3 年度の調査
静岡県伊豆の国市	史跡 韮山反射炉 保存修理工事報告書
伊豆の国市教育委員会	伊豆の国市文化財調査報告 No.17 韮山城跡発掘調査報告書 I
株式会社玉川文化財研究所	秦野の遺跡 15 神奈川県秦野市 鶴巻上ノ原遺跡 2000-04 地点
逗子市教育委員会	神奈川県逗子市 埋蔵文化財緊急調査報告書 17 一令和元年度一
公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団近現代歴史資料課市史資料室担当	横浜市史資料室報告書 令和四年度 戦後横浜―それぞれの出発
大磯町郷土資料館	資料館資料 21 大磯町助役日誌 大正七年一月～一二月
川崎市市民ミュージアム	川崎市市民ミュージアム 紀要 第 35 集
寒川町史編集委員会	寒川町史研究 第 34 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 889 号
公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団近現代歴史資料課市史資料室担当	横浜市史資料室紀要 第 13 号
神奈川県立生命の星・地球博物館	神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第 28 号 (2022 年度)
鈴木晶 小川輝光 藤田賀久	神奈川の関東大震災 100 年後の視点
横浜都市発展記念館 横浜開港資料館	関東大震災と横浜 廃墟から復興まで
神奈川県立歴史博物館	関東大震災―原点は 100 年前
横浜市歴史博物館	みんなでつなげる鉄道 150 年―鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり―〔前期〕
横浜市歴史博物館	みんなでつなげる鉄道 150 年―鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり―〔後期〕
横浜市歴史博物館	書物学 第 20 巻 追憶のサムライ―中世武士のイメージとリアル
横浜市歴史博物館	活字 近代日本を支えた小さな巨人たち
神奈川県博物館協会	神奈川県博物館協会 加盟館園職員名簿 2023
株式会社イビソク	鎌倉市 藤塚西やぐら群―鎌倉市寺分字藤塚 460 番 2 地点―
沼津市歴史民俗資料館	沼津市制 100 周年記念 絵葉書で見る 100 年前の沼津
鉄道史資料保存会	鉄道史料 177 号
横須賀市教育委員会	史跡東京湾要塞跡整備関連調査報告書 第 3 集 史跡東京湾要塞跡千代ヶ崎砲台跡 一保存整備事業一
阿賀野市教育委員会	阿賀野市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 18 集 県営湛水防除事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅷ 土橋北遺跡Ⅱ (D 区北側)
相模原市教育委員会	相模原市埋蔵文化財調査報告書 73 相原田ノ上遺跡第 15 地点―高齢者福祉施設建設に伴う発掘調査報告書―

相模原市教育委員会	相模原市埋蔵文化財調査報告書 74 田名清水遺跡第 2 地点 田名堀ノ内遺跡第 5 地点 新戸遺跡第 3 地点一宅地造成事業に伴う発掘調査報告書一
中央大学文学部考古学研究室・三鷹市教育委員会	中央大学文学部考古学研究室調査報告書 6 滝坂遺跡VI
中央大学文学部日本史学専攻考古学ゼミ	中央大学文学部考古学研究室 2022 年度活動報告 諏訪原遺跡 丸山 A 遺跡
和歌山県教育委員会	和歌山県近代の文化遺産調査報告書 I ―県内所在把握調査―
神奈川県立生命の星・地球博物館	かながわご当地菌類ガイドブック
平塚市博物館	茶色ばかりじゃないんだぞ! ―カラフルな考古資料たち―
長野市立博物館	御開帳 めくるめく ミル ミラレル ミセル
長野市立博物館	煌びやかなお嫁入り 信濃の大名道具
長野市立博物館	長野市立博物館収蔵資料目録民俗 8 夏目コレクション―夏目隆一 郷土玩具コレクション 抜粋―
長野市立博物館	長野市立博物館 紀要 第 23 号(人文系)
昭和館	昭和館館報 第 24 号 (令和 4 年度)
独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所	未来につながる人類の技 21 近代文化遺産の活用
鎌倉市教育委員会	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 3 9 令和 4 年度発掘調査報告(第 1 分冊) 大倉幕府周辺遺跡群
鎌倉市教育委員会	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 3 9 令和 4 年度発掘調査報告(第 2 分冊) 横小路周辺遺跡 甘縄神社 大慶寺旧境内遺跡 北条小町邸跡(泰時・時頼跡) 佐助ヶ谷遺跡
鎌倉市教育委員会 文化財課	鎌倉の埋蔵文化財 26 令和 3 年度発掘調査の概要
鎌倉市教育委員会 教育文化財部	鎌倉市文化財年報 令和 3 年(2021 年)度
茂原市史編さん委員会	茂原市史 資料編 I (原始・古代・中世考古)
日本大学生物資源科学部博物館	博物館研究報告・館報 生物資源科学 vol.32
全国史跡整備市町村協議会事務局	全史協会報 令和 4 年度
座間市教育委員会	座間市史資料叢書 10 谷田睦美家文書―鉄道関係史料―
国際文化財株式会社	神奈川県平塚市 六ノ城遺跡第 2 0 地点 発掘調査報告書
環境省	令和 5 年度版 環境白書 循環型社会白書／生物多様性白書
多久市郷土・歴史民俗・先覚者資料館	「紫式部和泉式部小式部」物語展の記録―奈良絵本『小式部』幻想の世界―
座間市教育委員会	座間むかしむかし 第 45 集
神奈川県温泉地学研究所編集部(令和 4 年度)	神奈川県温泉地学研究所報告 第 54 巻
横浜市環境創造局	神奈川県横浜市中区 山手アメリカ海軍病院遺跡 港の見える丘公園 拡張部の発掘調査
川崎市立日本民家園	神奈川県川崎市 東北の手仕事
川崎市立日本民家園	日本民家園収蔵品目録 8 補遺 旧伊藤家住宅
結城市教育委員会	史跡結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡 整備基本計画
関東文化財振興会株式会社	結城市文化財調査報告書第 12 集 柳下 B 遺跡 ―宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―
勝俣隆	星座で読み解く日本神話

平塚市教育委員会	平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書 22 中里D／六ノ城 梶谷原B／田村館跡 令和元・2年度市内遺跡緊急調査報告
五十嵐睦・小田切衣知子	神奈川県平塚市 平塚市埋蔵文化財シリーズ53 山王B遺跡 ー第10・11地点ー
群馬県立歴史博物館	群馬県立歴史博物館紀要 第44号
平塚市教育委員会社会教育部社会教育課文化財保護担当	第10回平塚市遺跡調査・研究発表会 誌上发表
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第893号
厚木市教育委員会	厚木市埋蔵文化財調査報告書 第12集 愛名島崎遺跡
厚木市教育委員会	厚木市埋蔵文化財調査報告書 第13集 長谷曽野遺跡 第4地点
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第241集 高度経済成長と食生活の変化
神奈川県立歴史博物館	あこがれの祥啓 啓書記の幻影と実像
富士見市教育委員会	史跡水子貝塚保存活用計画
神奈川県温泉地学研究所	観測だより 通巻第73号
熊野谷葉子	マトリョーシカのルーツを探して 「日本起源説」の謎を追う
谷口肇 編	日本史のなかの神奈川県
小田原市教育委員会	小田原の遺跡探訪シリーズ18 小田原城とその城下一街道沿いのくらしー
神奈川県立歴史博物館	足柄の仏像
小田原市教育委員会	令和4年度 小田原市遺跡講演会資料集 縄文と弥生ー考古学から見たくらしと心ー
青柳正規・芳賀京子監修	テルマエ お風呂でつながる古代ローマと日本
公益社団法人日本文化財保護協会	飛天 令和5年度会報
公益社団法人日本文化財保護協会	公益社団法人 日本文化財保護協会 紀要第7号
睦合文化財株式会社	神奈川県厚木市 東町遺跡 第11地点
公益財団法人 馬事文化財団	浮世絵美人と馬
公益財団法人 馬事文化財団	戦国武士と馬
板橋区立郷土資料館	震災後100年 いたばしの現代化ー関東大震災をきっかけに板橋はどう変わったのかー
大田区立郷土博物館	海苔商たちの底力
鎌倉歴史文化交流館	高野山金剛三昧院ー鎌倉殿を弔った寺院の軌跡ー
公益財団法人神奈川県文学振興会	没後30年 井伏鱒二展 アチラコチラデブンガクカタル
愛川町郷土資料館	相模陸軍飛行場関係写真集2
金沢市文化スポーツ局文化財保護課	金沢市文化財紀要350 金沢市庭園調査報告書ー長町地区・里見町地区・菊川地区ー
国際文化財株式会社	神奈川県相模原市 鳥屋谷戸遺跡A地区ー中央新幹線関東車両基地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー
公益財団法人神奈川県文学振興会	神奈川県近代文学館年報 2022（令和4）年度
公益財団法人神奈川県文学振興会	「おまけ」と「ふろく」展 子どもの夢の小宇宙
藤沢市生涯学習部郷土歴史課	藤沢市文化財調査報告書 第58集
国立歴史民俗博物館	陰陽師とは何者かーうらない、まじない、こよみをつくるー
公益財団法人馬事文化財団	馬事文化財団年報 通刊第44号（2022）

世田谷区立郷土資料館	館蔵品でみる宗教美術の造形—仏教美術を中心に—
茅ヶ崎市博物館	茅ヶ崎市博物館年報 令和4（2022）年度
横浜みなと博物館	関東大震災 100 年 船と港から見た関東大震災
宇田川勝司	謎解き世界地理 トピック 100
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 894 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 895 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 896 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 897 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 898 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 899 号
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 893 号
扣之帳刊行会	扣之帳 第 80 号
扣之帳刊行会	扣之帳 第 81 号
ポーラ美術館	モダン・タイムス・イン・パリ 1925 機械時代のアートとデザイン
大雄山最乗寺	大雄 2023 年緑風号（通巻 170 号）
大雄山最乗寺	大雄 2023 年盛夏号（通巻 171 号）
大雄山最乗寺	大雄 2023 年錦繍号（通巻 172 号）
安中市学習の森ふるさと学習館（安中市みりよく創出部文化財課）	碓井関所
小田原市教育委員会	令和4年 小田原市遺跡調査発表会 発表要旨
鶴見大学博物館学芸員課程	鶴見大学博物館学芸員課程年報 第4号
専修大学	令和4年度 専修大学 資格課程年報「パッソ ア パッソ」
神奈川県立公文書館	令和4年度 神奈川県立公文書館年報
豊橋市二川宿本陣資料館	柴田コレクション おひなさまと武者人形
豊橋市二川宿本陣資料館	瓦版展
株式会社武蔵文化財研究所	神奈川県相模原市 新戸遺跡第5地点—宅地造成並びに住宅建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—
睦合文化財株式会社	神奈川県相模原市 中村遺跡第8地点 集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査
中野区区民部文化振興・多文化共生推進課	名勝哲学堂公園保存活用計画
神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館研究報告 -人文科学- 第50号
伊豆の国市教育委員会文化財課	伊豆の国市 文化財年報10（令和4年度 文化財概要報告）（伊豆の国市埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ）
川崎市立日本民家園	くらやみ一夜と眠りのフォークロアー
三澤敏博	海舟と横浜～神奈川県に遺る勝海舟の足跡～
鎌倉歴史文化交流館	文永の役七五〇年 異国襲来—東アジアと鎌倉の中世—
群馬県立歴史博物館	れきはく生き物大集合☆
観光考古学会	観光と考古学 第4号
群馬県立歴史博物館	温泉大国ぐんま
高田和彦 他	箱根の花
株式会社ホビージャパン	ホビージャパン MOOK 1350 刀剣画報 髭切・膝丸と敵討ちの刀

(財) 茅ヶ崎市文化振興財団	茅ヶ崎市文化振興財団調査報告 15 北 B 遺跡 第 2 次・第 3 時発掘調査報告書
(財) 茅ヶ崎市文化振興財団	茅ヶ崎市文化振興財団調査報告 25 西久保大屋敷 A 地点
(財) 茅ヶ崎市文化振興財団	茅ヶ崎市文化振興財団調査報告 6 香川諏訪神社東遺跡
茅ヶ崎市教育委員会社会教育課	茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告 66 神奈川県茅ヶ崎市 市内遺跡試掘・確認調査報告 XX I
茅ヶ崎市教育委員会	茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告 64 神奈川県茅ヶ崎市 国指定史跡下寺尾官衙遺跡群 II
東京家政大学博物館	東京家政大学博物館年報 令和 4 年度
明治大学学芸員養成課程	MUSEUM STUDY 34 2022 年度明治大学学芸員養成課程紀要
明治大学学芸員養成課程	MUSEOLOGIST 38 2022 年度明治大学学芸員養成課程年報
豊橋市二川本陣資料館	高師原・天白原演習場とその時代
株式会社玉川文化財研究所	神奈川県藤沢市 藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書—下土棚夏刈東遺跡第一次調査—
有限会社吾妻考古学研究所	神奈川県藤沢市 鶴沼横須賀遺跡第 4 次調査—発掘調査報告書—
一般財団法人 建築研究協会	大阪府指定有形文化財 田尻歴史館(旧谷口家吉見別邸)耐震補強等保存修理工事報告書
府中市	新 府中市史 中世 通史編
渋沢研究会	渋沢研究 第 36 号
富士宮市・富士宮市教育委員会	第 21 回「富士山を詠む」俳句賞作品集
公益財団法人渋沢栄一記念財団	青淵 第 900 号
土浦市立博物館	土浦市立博物館ブックレット 2 色川三郎兵衛と土浦の洪水
土浦市立博物館	土浦市立博物館紀要 第 33 号
土浦市立博物館 上高津貝塚ふるさと歴史の広場	ハンドブック 土浦”モノ”語り—資料が語る土浦の歴史—
三芳町教育委員会	三芳町埋蔵文化財報告 45 町内遺跡発掘調査報告書 XI
秦野市文化スポーツ部生涯学習課文化財・市史担当	震生湖誕生 100 周年記念誌
はだの歴史博物館	はだの歴史博物館展示ガイドブック
世田谷区政策経営部政策企画課区史編さん担当	区史研究世田谷 第 4 号
津久井雅志 安藤広太 金子徹	富士山宝永噴火史料集
板橋区立郷土資料館	いたばしの富士山信仰—富士講用具と旅した人びと—
株式会社四門文化財事業部	神奈川県相模原市 磯部西ヶ谷戸遺跡 宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
大磯町郷土資料館	アトリエ開設 60 年記念企画展 三岸節子と大磯
富士山かぐや姫ミュージアム	第 60 回企画展 東海道にかける富士の橋
株式会社玉川文化財研究所	神奈川県藤沢市 藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書—下土棚諏訪ノ棚遺跡第 7 次調査—
株式会社玉川文化財研究所	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 100 新道遺跡第 2 次調査 都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線街路整備事業に伴う発掘調査
湯立神楽記念事業実行委員会	沼田の湯立神楽 伝承 250 周年記念誌

(受付順)

3 資料の利用

(1) 貸出

貸出日	資 料 名	方法	貸 出 先	使 用 目 的	
8/15	十一面観音懸仏、如来懸仏、懸仏鑑板、糸車、獅嚙座（大芝遺跡出土品）	貸出	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館特別展「足柄の仏像」	展示
3/8	台カンナ（センガンナ）糸鋸ミシン（木象嵌製作用）	貸出	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館特別展「近代輸出漆器のダイナミズム—金子皓彦コレクションの世界—」	展示
	七湯の枝折（つたや本）八ノ巻	貸出	山梨県立美術館	山梨県立美術館巡回展「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」	展示

(2) 提供

貸出日	資 料 名	方法	貸 出 先	使 用 目 的	
4/24	石曳図屏風	複写	IVS テレビ制作株式会社	日本テレビ「ザ！鉄腕！DASH!!」	TV
4/24	箱根七湯図会 宮ノ下	複写	株式会社山川出版社	谷口肇編『日本史の中の神奈川県』	
4/24	紙本墨書小田原北条虎の朱印文書	複写	株式会社 TBS スパークル	BS-TBS「関口宏の一番新しい日本史」（2023年5月27日）	TV
4/27	北条早雲画像	複写	株式会社テレビ朝日	「帰れマンデー見っけ隊」（2023年5月1日）	TV
4/10	常設展示パネル	撮影	個人	研究のため	
5/15	北条氏康画像	複写	NHK メディア総局第3制作センター	NHK「ブラタモリ 佐野」（2023年7月8日）	TV
5/26	富士屋ホテルと外国人客	複写	IVS テレビ制作株式会社	フジテレビ「爆買いスター恩返し」（2023年6月2日）	TV
5/10	E67 YUMOTO HAKONE(馬車鉄道湯本駅)	複写	鉄道史資料保存会	『鉄道史料』177号（2023年7月）	
5/30	北条氏康画像	複写	大井町教育委員会	郷土歴史講座「戦国大名北条氏康について」チラシ・ポスター	
5/28	夜討曾我	複写	株式会社テレビ朝日	「帰れマンデー見っけ隊」（2023年6月5日）	TV
6/14	箱根七湯一覧、絵葉書9点	複写	サリー・シンプソン合資会社	BS フジ「鉄道伝説 122 箱根登山鉄道」（2023年10月）	TV
7/10	箱根細工のうち七福神	複写	ベレ出版	『(仮) 地理トリビア 謎解き世界一周』（2023年10月）	

7/28	箱根細工三十六玉子、「七湯の枝折」のうち挽物細工の画像	複写	株式会社岩波書店	熊野谷葉子『マトリョーシカのルーツを探して』（2023年9月）	
7/25	神奈川県下箱根電灯発電所之景	複写	個人	ガイド用資料として	
8/22	北条氏綱画像、北条氏康画像	複写	(株)宮帯出版社	武村雅夫『北条氏の甲冑と刀剣』（2023年10月）	
8/25	福住旅館(全景、萬翠楼外観、金泉楼客室、萬翠楼天井ランプ)	複写	株式会社アイデア・ビレッジ	『擬洋風建築のひみつ 見かた・楽しみかたがわかる本』（2023年11月）	
9/14	強羅土地地割図、箱根強羅土地地割図、強羅土地株式会社強羅地割図	撮影	個人	調査研究のため	
10/10	明治時代の畑宿古写真、歌川芳虎「東海道 箱根 畑」	複写	日本橋出版株式会社	三澤敏博『神奈川県に遺る勝海舟の足跡（仮）』（2023年秋）	
11/6	北条早雲画像、北条氏政画像、北条氏直画像	複写	株式会社宮帯出版社	竹村雅夫『北条氏の甲冑と刀剣』	
11/14	曾我物語絵巻	複写	株式会社アベ・ピクチャーズ	静岡県観光協会「令和5年度歴史・文化資源を活用した誘客のための動画」	web
11/16	石曳図屏風	複写	株式会社アリス館	絵本「石を運ぶ（仮）」の参考資料	
11/21	五雲亭貞秀「東海道箱根山中図」	複写	個人	小田原市民学校での発表資料	
11/28	北条氏康画像、北条氏政画像	複写	富士市立博物館	企画展「東海道にかける富士の橋」	展示
12/5	月百姿 金時山の月、金太郎獣階子乗図	複写	株式会社 kimika	TBS テレビ「アイアム冒険少年」2023年12月11日放送	TV
12/6	宮ノ下古写真、湯本付近の新道 絵葉書「二子山麓」 新道開削に関する展示パネル	複写	小田原土木センター	函嶺洞門一時開放に伴う展示	展示
12/8	北条氏康画像	複写	ハーツアンドマインズ	月刊「おとなりさん」vol. 487	
12/12	曾我物語絵巻	複写	株式会社ホビージャパン	刀剣画報 vol. 25	
12/12	小田原電気鉄道登山線の電車 ケーブルカーと分譲地の遠景 小田原電気鉄道初期のケーブルカー	複写	株式会社日本経済評論社	高嶋修一『山の観光史』	

12/27	石曳図屏風	複写	名古屋城総合事務所	シンポジウム「名古屋城石垣をつくる・なおす」	
1/4	和漢英雄伝 金太郎	複写	『<キャラクター>の大衆文化』の翻訳出版	宝庫社	
1/16	小田原北条虎の朱印文書	複写	神奈川県立歴史博物館	特別陣列「戦国大名北條氏と西相模・伊豆」の展示パネル	
1/16	神奈川県下箱根電灯発電所之景	複写	株式会社アダック	『SAISON express』6月号	
3/8	箱根七湯一覽 箱根塔の澤一の湯（絵葉書） 箱根宮下全景（絵葉書）	複写	株式会社プラネット ライツ	「男の隠れ家」5月号	
3/15	仙石原高原写真	複写	テレビ朝日映像株式会社	「午後もしゅん散歩」 3月29日放送	

「提供方法」凡例
複写：デジタル
撮影：現物などの撮影
二次：転載利用など

「使用目的」凡例（成果品の形状）	
TV：テレビ放映	展示：展示物
Web：ホームページ、ブログ等	
無印：印刷物等	

○箱根町立郷土資料館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、箱根町立郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき、考古資料、民俗資料、文書資料等の箱根の歴史に関する資料を収集、保管及び展示等を行うとともに、これらの資料に関する調査研究と教育普及活動等を行い、町民の文化の向上等に資するため、郷土資料館を箱根町湯本266番地に設置する。

(職員)

第3条 郷土資料館に、館長その他の必要な職員を置く。

(入館制限等)

第4条 箱根町教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次の各号のいずれかに該当する場合には、郷土資料館の入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 郷土資料館の施設及び付属設備並びに資料等を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) その他郷土資料館の管理上不適当と認められるとき。

(観覧料)

第5条 郷土資料館の展示品を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。

2 観覧料の額は、次表のとおりとする。

区分	観覧料の額(1人1回につき)			
	一般(高校生以上の者)		小学生及び中学生	
	個人	団体 (20人以上)	個人	団体 (20人以上)
一般展示	300円	250円	150円	100円
特別展示	300円以内で町長が定める額			
備考	高校生、中学生、小学生又は園児が在学し、又は在園する施設の活動として観覧するときの引率者の観覧料は、無料とする。			

(観覧料の減免)

第6条 町長は、前条の規定にかかわらず、町民が社会教育の団体活動として観覧する場合及び町内の学校が教育課程に基づく学習活動として観覧する場合並びに公益その他特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第7条 すでに納付された観覧料は、返還しない。ただし、観覧しようとする者の責めに帰さない理由により観覧できなくなった場合、その他正当な理由がある場合は、この限りでない。

(損害賠償)

第8条 入館者が郷土資料館の施設及び付属設備並びに資料等を損傷し、または亡失したときは、教育委員会の指示に従い、これを原形に復し、またはその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、郷土資料館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

1 この条例は、昭和58年7月21日から施行する。

附 則(平成6年3月22日条例第9号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日条例第15号)

この条例は、平成11年4月1日から施行する。ただし、第5条第2項の改正規定は、平成11年7月1日から施行する。

附 則(平成17年6月27日条例第13号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成19年2月13日条例第2号)抄

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月30日条例第13号)

この条例は、平成29年10月1日から施行する。

附 則(平成30年12月27日条例第30号)抄

この条例は、平成31年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第1条中森のふれあい館条例第4条第3項を削る改正規定、第2条中箱根町観光施設条例第10条第3項の改正規定、第5条の規定、第6条中箱根町郷土資料館条例第5条第3項を削る改正規定及び第7条中箱根関所条例第6条第3項を削る改正規定 平成31年7月1日

○箱根町立郷土資料館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、箱根町立郷土資料館条例(昭和58年箱根町条例第6号。以下「条例」という。)第9条の規定に基づき、箱根町立郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 郷土資料館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要であると認めるときは、開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第3条 郷土資料館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週水曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する国民の祝日に当たる日を除く。)
- (2) 毎月の最終月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その翌日)
- (3) 12月28日から翌年1月4日まで

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項に規定する休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(入館券の交付)

第4条 郷土資料館の資料(以下「資料」という。)を観覧しようとする者は、入館券(第1号様式)の交付を受けなければならない。

2 入館券の交付を受けた者は、退館の際これを返還しなければならない。

(観覧券の交付)

第5条 観覧料を納付した者に対しては、観覧券(第2号様式又は第3号様式)を交付する。

(観覧料の減免)

第6条 条例第6条の規定により観覧料を免除するときは、次に掲げるときとする。

(1) 町民で組織する団体が、社会教育活動の一環として観覧するとき。

(2) 町内の学校の活動として生徒等が観覧するとき。

(3) 町が主催又は共催する行事においてその参加者が観覧するとき。

(4) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者及びその介護者が観覧するとき。

(5) 療育手帳制度要綱(昭和48年厚生省発児第156号)の規定により療育手帳の交付を受けた者及びその介護者が観覧するとき。

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者及びその介護者が観覧するとき。

(7) 介護保健法(平成9年法律第123号)の規定による要介護認定又は要支援認定を受けた者及びその介護者が観覧するとき。

(8) 観光ガイド又はツアー添乗員が入館するとき。

(9) その他町長が特に必要と認めるとき。

2 条例第6条の規定により観覧料を減額するときは、次に掲げるときとする。この場合において、減額額は、観覧料の半額を超えない範囲内で定めるものとする。

(1) 町が後援又は賛助等する行事においてその参加者が観覧するとき。

(2) その他町長が特に必要と認めるとき。

3 条例第6条の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(第4号様式)を町長に提出し、承認を受けなければならない。

4 町長は、前項に規定による申請を承認したときは、申請者に対し観覧料減免承認書(第4号様式)を交付するものとする。

5 第3項の規定にかかわらず、第1項第4号から第7号までの規定に該当する者は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は介護保険被保険者証を入館の際に提示することで観覧料の免除を受けることができる。

6 第3項の規定にかかわらず、第1項第8号の規定に該当する者は、入館の際に所定の様式に氏名及び住所等を記載することで観覧料の免除を受けることができる。

第7条 削除

(優待券等)

第8条 町長は、必要と認めるときは、優待券又は割引券を発行することができる。

(学習室の利用)

第9条 学習室は、学校教育、社会教育等に関する活動のために利用することができる。

2 学習室を利用しようとする者は、学習室利用申請書(第5号様式)を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

(入館者の遵守事項)

第10条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 指定された展示品以外の展示品に手を触れないこと。

(2) 許可なく展示品又は資料を模写又は撮影しないこと。

(3) 定められた場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。

2 前項各号に掲げるもののほか、教育委員会は、必要に応じ入館者の行為を制限することができる。

(資料の館外貸出し)

第11条 博物館、図書館、学校その他教育委員会が適当と認めた者は、資料の館外貸出しを受けることができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、教育委員会に資料館館外貸出承認申請書(第6号様式)を提出し、その承認を受けなければならない。

3 資料の館外貸出期間は、貸出しを受けた日から30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを延長することができる。

4 教育委員会は、館務の都合により必要があるときは、貸出期間中であっても、貸出しをしている資料の返還を求めることができる。

5 資料の館外貸出しを受けた者が、貸出期間中に資料を損傷又は亡失したときは、教育委員会の指示に従い、これを原形に復し、又は損害を賠償しなければならない。

(館外貸出資料の利用方法)

第12条

資料の館外貸出しを受けた者は、当該資料を承認を受けた利用の目的以外に利用してはならない。

(資料の寄贈及び寄託等)

第13条 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた資料の館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行うことができない。

3 教育委員会は、資料の寄贈を受けた場合にあっては寄贈資料受領書(第7号様式)、資料の寄託を受けた場合にあっては資料受託書(第8号様式)を交付するものとする。

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、郷土資料館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和58年7月21日から施行する。

附 則(平成18年2月20日教委規則第4号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成30年12月27日教委規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の様式に基づいて作成した用紙で、現に残存するものは、必要な調整を加え、なお当分の間、使用することができる。

○箱根町立郷土資料館処務規程

(趣旨)

第1条 箱根町立郷土資料館(以下「資料館」という。)における処務については、この訓令の定めるところによる。

(事務分掌)

第2条 資料館における事務分掌は、おおむね次のとおりとする。

- (1) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関すること。
- (2) 予算に関すること。
- (3) 物品の収納及び保管に関すること。
- (4) 資料館の庶務に関すること。
- (5) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (6) 観覧券及び物品等の販売にかかる収納に関すること。
- (7) 施設及び資料等の使用、利用承認に関すること。
- (8) 館員の服務に関すること。
- (9) 特別展の開催に関すること。
- (10) 渉外及び宣伝に関すること。
- (11) 資料館資料の収集・保管及び調査研究に関すること。
- (12) 資料館資料の展示・閲覧及びその他教育普及に関すること。
- (13) 生涯学習課との連絡調整に関すること。

(専決)

第3条 館長の専決事項は、別表に定めるところとする。

2 館長は、前項に定める専決事項以外のものであってもその事務内容が専決事項に準ずるものは、専決することができる。

(専決事項の制限)

第4条 館長は、前条の規程にかかわらず、重要若しくは異例と認められる事項又は疑義のある事項については、上司の決裁を受けなければならない。

(代決)

第5条 館長が不在のときは、あらかじめその事務処理について、特に指示を受けた事項又は緊急やむを得ない事項については、上席の館員がその事務を代決することができる。

2 代決した事項については、施行後速やかに館長の後閲を受けなければならない。

(日誌及び日報)

第6条 館長は、毎日、日誌に事件及び処務の概要を記録して、1週間ごとに上司の検閲を受けなければならない。

2 館長は月報を作製し、翌月3日までに上司へ報告しなければならない。

(その他)

第7条 この訓令に定めるもののほか、資料館の処務については、教育委員会の処務の例による。

附 則

この訓令は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日教委訓令第1号)

この訓令は、平成11年4月1日から施行する

附 則(平成14年5月20日教委訓令第1号)

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

※ 添付様式の掲載は省略

箱根町立郷土資料館

館 報 第 37 号

発 行 日	令和 6 年 8 月 1 日
編 集	箱根町立郷土資料館
発 行	〒250-0311 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 266 TEL 0460(85)7601 (生涯学習課)
ホームページ	http://www.town.hakone.kanagawa.jp/index.cfm/6,420,14,99,html
メールアドレス	kyoudo@town.hakone.kanagawa.jp
